



青少年しまね

No. 99 平成 30 年 (2018) 3 月

青少年育成島根県民会議
〒690-8501
松江市殿町1 県庁青少年家庭課内
TEL : (0852)-22-6255
FAX : (0852)-22-6045
HP : http://www.shimane-youth.gr.jp
E-mail : nobinobi@shimane-youth.gr.jp
Facebook : 「青少年育成島根県民会議」

5/10 県民会議表彰 (P2)



受賞おめでとうございます

最優秀賞の県民会議会長賞を受賞!

総会・研修会



10/16

定時制通信制生徒生活体験発表会



11/26 金城自治会研修



地域で頑張る若者たちに熱い話を聞きました!

H.30
1/20

青少年育成県民運動
推進フォーラム (P3)



PLAY BACK 2017

8/1~
H.30
1/29

あり方検討委員会
(5回開催)



新たなステージに向かって
熱心な協議!

9/27

少年の主張島根県大会
(P4-5)

全国大会
「文部科学大臣賞」を受賞!



自分らしく生きよう

10/7

メディア研修会



インターネットはリスクを知って上手に使おう

12/2
12/3

県青少年育成アドバイザー
養成講座 (P7)

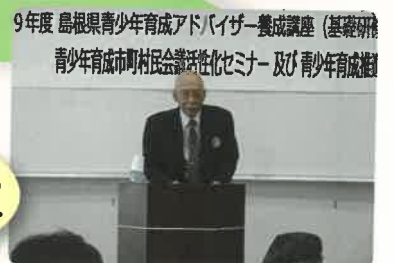


12/26 「ここのは大賞」表彰式 (P7)



「わかもの会議で」
活発な意見交換

心あたたまる
言葉の数々...



9年度 島根県青少年育成アドバイザー養成講座 (基礎研)
青少年育成市町村民会議活性化セミナー 及び 青少年育成推



青少年育成島根県民会議のシンボルマーク.....
吾郷花純さんの作品です。中央の黄色い球は、宝物である子ども、青色は、子どもを育む社会の基盤、緑色は、保護者・家庭、ピンクは、学校・地域などの周囲の大人です。ほおずきのように、子どもたちがみんなに大事に育てられていること、いつか守られている葉が開き、社会に出て行くことを表現しています。



『おばあさんのイチゴ』

～しまニッコ！（スマイル・声かけ）県民運動の広がりを願って～

青少年育成島根県民会議会長 吉長 義親

あるお家のおばあさんがお亡くなりになりました。息子さんが私に語ってくれました。

「母が亡くなったあくる日、年の頃二十二、三歳くらいの娘さんが訪ねて来て“おばあさんにお別れをさせてください”と言って母を拜んでくださいました。

私は、親戚の人でもないし近所でも見かけないし誰だろう？と不思議な気がしていました。娘さんは母に合掌してお別れをしてから帰りがけに話してくださいました。

“私が小学生の頃、こちらの家の前を毎日歩いて通学していました。道端に畑があっておばあさんはよく畑仕事をしておられました。

イチゴを作っておられて、私が登校・下校で通るたびに、「ご苦労さん！」「大変だね！」「気を付けてお帰り！」と声をかけてたびたびイチゴをくださいました。そのイチゴのおいしかったこと。とても嬉しかったことが忘れられません。お亡くなりになったことをお聞きしましたので、お礼を言ってお別れしたく突然お邪魔して失礼しました。”と……。私は納得し、母の優しさを思い浮かべ、娘さんの心がけに感激しました。」

息子さんは、悲しみの中でお母さんの生前の素晴らしいお姿を嬉しそうに話してくださいました。

この娘さんは、小さい時のおばあさんの温かい心（命）をしっかり受け止め、胸に抱いて成長してきたのですね！きっと心豊かな人生を送られることでしょう。

この頃、「子どもたちの会話が少なくなってきた」「若者は、他の人への関わり方がわからないようだ」「人となじめない子どもがいる」など、子どもたち、若者のコミュニケーションの力が弱くなっていると言われます。大人にも人と人との関わりが薄くなっている傾向が伺えます。

私たちは、お互いに声をかけ合い、かわり合い、支え合うことで、心をかよわせ合って共に生きていかねばなりません。そうすると、きっと家庭・学校・

地域や職場が明るく、温かく、活気に満ちてきます。人と人との絆も深くなります。そして暮らしやすいまちになり、青少年も健全に育つと思います。

私は、今、大人も子どもも声を掛けあうことが必要だと思っています。声を掛けあうことは、お互いを認めることになり、関わることでお互いが成り立ち、共に生きる力が湧いてくるのではないのでしょうか？

家庭で家族があいさつを交わす、地域の住民が声をかけあう、子どもたちはきっとさりげなくそれを見て、真似をするに違いありません。人が楽しく社会生活をしていくためには、お互い同士が絆を深めることが基本かな？とも思っています。

青少年育成島根県民会議では、大人と子ども同士、大人同士、子ども同士が、笑顔で声をかけ合うことで、ふれあいの力を培い、絆を深め、手を取り合っ生きてまちづくりのために「しまにっこ！（スマイル声かけ）県民運動」を全体的に展開しています。どうぞ、皆さんでこの運動を広げてください。

心のことば

- 朝は「おはようございます」
- 夜は「おつかれ、おやすみなさい」
- 「いただきます」に「ごちそうさま」
- お出かけお帰り ごあいさつ
- 知ってる人には「こんにちは」
- 別れるときには「さようなら」
- 失敗したら「すみません」
- あやまちしたら「ごめんなさい」
- いたわることばは「ごろうさん」
- お礼のことばは「ありがとう」
- 愛のことばに花が咲く（藤本幸邦作）

平成 29 年度 青少年育成島根県民会議表彰

青少年育成にかかる熱心な地域活動を実践している青少年や団体、また顕著な功績を挙げ他の模範となる皆様を表彰しました。（平成 29 年度青少年育成島根県民会議総会において）

■青少年の部

小林雅弘（松江市） [1名 敬称略]

■青少年指導者の部

青砥好右（松江市）、今岡祥子（出雲市）、草野和馬（益田市）、大畑俊正（益田市）、土屋亮一（江津市）、石田侑生（雲南市）、村上弘巳（奥出雲町） [計7名 敬称略]





青少年育成県民運動推進フォーラム



このフォーラムは、「地域で育む青少年の社会参画」をテーマに、青少年の主体的な活動を地域でどのように応援していくかを考えるきっかけとするために開催しました。

県立遼摩高等学校石見神楽同好会の皆さんによる若さあふれる神楽舞「恵比寿」の上演で始まったフォーラムは、平成28年度チャレンジ支援事業実施団体、地元の青少年団体による実践発表と、「わかもの会議」と題した青少年によるディスカッションの二部構成で行いました。

「わかもの会議」では、地元「ほっとスペースゆきみーる」室長 高橋 賢史さんの進行で、団体に参加したきっかけや活動を通して感じたこと、心に残る周りの人の声かけ、今後の展望などを話し合いました。会場からの質問も交え、若者の意見や願いを参加者全員で共有する機会になりました。

期 日：平成30年1月20日（土）

会 場：島根県立男女共同参画センターあすてらす

内 容：○オープニングパフォーマンス 県立遼摩高等学校石見神楽同好会

○青少年活動実践発表

〈平成28年度チャレンジ支援事業実施団体〉

「親子で作ろう！こいのぼり」八雲ゆう人会（松江市）

おばけやしき to ないとかふえ～いのぼーを救え～ 伊野地区青少年育成会議（出雲市）

青少年や地域のおとなが共に感動体験できる場づくり NPO法人浜田おやこ劇場（浜田市）

〈地元青少年活動実施団体〉

大田市内の中高生を中心とした地域ボランティアグループ 大田J.O.いんつ♪（大田市）

○わかもの会議

実践団体代表者によるディスカッション

テ マ 「若者主体の活動をとおして」～一人一人が輝く地域社会とは～

司会進行 高橋 賢史 さん（ほっとスペースゆきみーる 室長）

参加者：90名



* 参加者の感想から

- ・楽しかった。わかもの会議で言いたいことが全て言えた。自分の地域以外の活動を知ることができて自分たちちももっと何かできることはないかと考えさせられた。
- ・実際に青少年の生の声を聞いたことで大人である自分自身に何ができるだろうかと考えました。
- ・見守るだけから一歩踏み出して何らかの形で関わりたいなと感じました。

- ・若者と一緒に作り上げることをできるところから取り組んでいこうと改め感じた。
- ・若者の生の声を聞く機会が少ないのでこういったフォーラムは続けて欲しいし、できるだけたくさんの人（若者も大人も）に聞いて欲しいと感じました。このような若者世代の人たちの実践交流の場が広がるといいと思います。
- ・こういった活動が全市町村で活発になり、若者の活動が県内のどこでも継続できるような環境の醸成をお願いします。

平成29年度青少年育成島根県民会議あり方検討委員会

平成28年度に結成50周年の節目を迎え、青少年育成県民運動の更なる拡充と浸透を図るために「あり方検討委員会」を設置し、今後の県民会議の方向性について検討していただきました。

委員会には、実践活動に取り組む青少年や活動支援者も参加し、自由な視点から議論がなされました。

5回にわたる審議の結果、県民会議の今後の方向性について3つの視点から報告をいただきました。

検討結果（要旨）

- (1) 「子どもが主役」、「地域の子ども・みんなの子ども」への意識改革
 - 「子どもが主役」という視点での青少年育成活動の実施
 - すべての大人が「地域の子ども、みんなの子ども」という意識のもと、県民総ぐるみで青少年を育成
- (2) 青少年育成活動のプラットフォーム的な役割と機能の強化
 - 様々な青少年育成活動に関わる機関・団体をつなげ、協働を支援するプラットフォーム的な役割と仕組みづくり
 - 「つなぐ・つかむ・つたえる・つくる・つちかう」をキーワードとした事業展開
- (3) 時代の変化に合わせ、定期的な運動の振り返りとブラッシュアップ
 - 時代のニーズにあった青少年育成運動推進のために、常に課題把握に努め、自らブラッシュアップしていくための仕組みづくり



県民会議は、今回の報告を踏まえ、50周年を分岐点とした新たなスタートとして、青少年育成県民運動を展開していきます。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

平成29年度 全国高等学校 定時制通信制生徒生活体験発表島根県大会

県内各高等学校の定時制・通信制に通う生徒9名が、学校生活や仕事・友人関係などを通して感じた思いを自分の言葉で堂々と発表し、「宍道高校定時制課程の今岡ちひろさん」が、最優秀賞である「青少年育成島根県民会議会長賞」を受賞しました。



期日：平成29年10月16日（月）
会場：松江市 宍道高等学校



有限会社 高浜印刷

〒690-0133 島根県松江市東長江町902-57
TEL.0852-36-9100 FAX.0852-36-5775
E-mail: info@takahama.jp

高浜印刷は島根サノオマジックを応援しています。



平成29年度 少年の主張島根県大会



県内13ブロックで開催された市郡大会から選出された17名の代表によって平成29年度「少年の主張島根県大会」を開催しました。

島根県知事賞1名、島根県教育委員会教育長賞1名、島根県警察本部長賞1名、青少年育成島根県民会議会長賞1名、審査員特別賞2名、優秀賞11名を選出し、島根県知事賞受賞者を県代表として「少年の主張全国大会」に推薦しました。

平成29年9月27日(水) 島根県芸術文化センター グラントワ

「少年の主張島根県大会」は、明日を担う中学生が、日常生活を通じ、日頃考えたり感じたことを多くの人々の前で発表することにより、自立心を育てる機会とし、主張を聞いた中学生は自分の考えを広め、自覚し、大人は中学生に対する意識や行動に理解や関心を深めてもらおうとすることを目的としています。

今年の発表は、テーマとして、それぞれの多様性を認めることの大切さ、自分探し、心の問題に取り組んだもの、地域との関わりや海外でのホームステイを通して感じたことなどが、それらが思いを持ってきちんと自分の言葉で表現されていました。

また、県知事賞を受賞された海士町立海士中学校 井手上漠さんの発表は、中国・四国ブロックの代表にも選出され、全国大会で二位にあたる「文部科学大臣賞」を受賞されました。誠に喜ばしく、心から敬意を表します。



青少年育成島根県民会議 会長 吉長 義親



発表者17名と審査員・来賓・主催者による集合写真



益田市立匹見中学校神楽部によるアトラクション

賞名	演題	地区	学校名	学年	氏名
島根県知事賞 ※全国大会【文部科学大臣賞】	カラフル	隠岐	海士町立海士中学校	3	井手上 漠
島根県教育委員会教育長賞	多くの足音	益田	益田市立西南中学校	3	豊田 麻桜
島根県警察本部長賞	忘れちゃいけない	鹿足	津和野町立津和野中学校	2	松浦 幸美
青少年育成島根県民会議会長賞	父が教えてくれたこと	大田	大田市立大田西中学校	1	林 芽生
審査員特別賞	かくれんぼ	益田	益田市立真砂中学校	3	瀧谷 瑠音
//	障がい者で何がわるい？	松江	島根大学教育学部附属中学校	3	田中 歩人
優秀賞	小さな教室から広がる世界	出雲	出雲市立南中学校	3	奥井 寛太
//	「ふつう」とは何か	松江	松江市立湖東中学校	3	阪本 華
//	私の器	益田	益田市立益田中学校	3	上田 幸花
//	言語の壁	雲南	雲南市立大東中学校	2	永井 宏樹
//	本当の友達とは	邑智	邑南町立石見中学校	1	奥村 芽唯
//	世界に響け我らの安来節	安来	安来市立第二中学校	3	安部 直人
//	新しい自分になるために	仁多	興出雲町立仁多中学校	3	藤原 蘭
//	願い	浜田	浜田市立浜田東中学校	1	小寺 真羽
//	家族がいることの幸せ	飯石	飯南町立赤来中学校	2	小野 舞子
//	今 私にできること	出雲	出雲市立斐川東中学校	3	高木 梨奈
//	地平線	江津	江津市立青陵中学校	3	押越 広宇紀

島根県知事賞 「カラフル」

海士町立海士中学校 3年 いでがみ ぼく 井手上 漠 さん

11月12日（日）に東京で行われた全国大会に中国・四国ブロック代表として出場し、文部科学大臣賞を受賞！

昔から女の子のする遊びが楽しくて自分に合っている気がしていました。サッカーをするよりお人形で遊ぶ方が何倍も楽しかったのです。

そんな僕が「自分は人とは違う。変わっている」と気がついたのは小学校高学年の頃でした。「気持ち悪い。」

いきなり、耳を疑うような言葉が僕の耳に飛び込んできました。え、僕のこと？僕のどこが気持ち悪いの？

その日から僕は周りから変な目で見られているように感じました。そこから、少しずつ自分を変えようと思いました。肩まであった長い髪をバツサリ切って、なるべく周りの男子に合わせました。鏡を見る度、理想の自分ではない自分が映っていて本当に辛かったです。

けれどそのときの僕はありのままの自分ではいられなかったのです。楽しくはなくてもできるだけ男子と関わろうとしてみました。無理をするのは思っていたよりも何倍も何倍も苦しかったです。色のない、白黒の毎日でした。

そんな僕を認めてくれたのは母でした。

母は言いました。

「漠は漠のままでもいいんだよ。それが漠なんだから」と。

無理をして固くなっていた心が解けていくように感じました。母は僕のすべてをわかってくれていました。女の子と遊ぶ方が落ちつくことも、髪が長い方が自分らしいと思っていることも、そして、そんな自分は変わっていると悩んでいることさえも…。

母が味方でいてくれるなら僕はありのままの僕でい



よう、周りの目なんて気にしない、自分らしくいよう、母のためにも楽しく生きようと強く強く思いました。

その日から僕は自分らしいしゃべり方で自分らしい仕草で自分らしい毎日を送っています。自分らしく堂々と生きていると自然と友達も僕を理解してくれ、楽しく話せる人も増えていきました。僕の世界が少しずつ色づき始めました。僕のことを変な目で見ていた人たちも今では仲よくなっています。母の愛情のおかげです。

僕には将来の夢があります。それは美容師になることです。成長するにしたがって、僕は美容やファッションに興味を持ち始めました。雑誌を読んで研究することも大好きです。今は自分を美しくすることに夢中ですが、将来は人を美しくする、そしてたくさんの人に喜んでもらいたいと思うのです。

もし今、ありのままの自分を認めることができず、悩んでいる人がいたら僕は伝えたい。あなたは这个世界にいないといけない人だということを。

世の中にはいろいろな人がいます。自分と同じ人間は世界中どこを探してもいません。考えることも好きなことも大切なことも一人ひとり違うのです。一人ひとりが違うからこそ、相手に興味がわき、もっと知りたいと思ったり、愛しく思えたりするのではないのでしょうか。

雨上がりの空にかかる虹が美しいようにさまざまな色が輝き、調和すれば这个世界はもっと美しくなると思うのです。一人ひとりが自分を自由に表現できる世界。そんなカラフルな世界を一緒に作っていきましょう。

県下最大のソリューション
ネットワークで、皆様の
ビジネスを+にクリエイト

CreA+

CreA+

創る、その先へ

CreAplus inc. 本社
〒690-0048 島根県松江市西嫁島1-5-17
株式会社 クリアプラス TEL 0852 21 3476 / FAX 0852 21 3866

その先の“いいね”を目指して——

印刷会社 黒潮社

PRINT COMPANY KOKUCHOSHA

〒690-0841 松江市向島町182-3
TEL.0852-21-3409 FAX.0852-21-3554
E-mail koku@k-pri.co.jp

印刷 黒潮社 検索

しまニッコ! サポーターズ活動紹介

私たちがサポーターズとして活動しています!



「しまニッコ! (スマイル声かけ) 県民運動」とは?

大人と子ども、大人同士、子ども同士が、笑顔で声をかけ合うことで、ふれあいの力を培い、絆を深め、手を取り合って生きるための県民運動です。

※各団体の活動内容紹介の全文は県民会議のHPに掲載してあります。



「しまニッコの日」は登校時から笑顔で挨拶

○安来市立布部小学校 PTA 会長 赤木友和

安来市立布部小学校 PTA は、保護者 18 名教職員 9 名合計 27 名の会員で構成され、小学校児童数は 26 名と完全複式の学校です。

児童数は少なくても、一人ひとりが元気な挨拶をと思っていますが、なかなか元気の良い挨拶を浸透させていくことができませんでした。

そんな中、「しまニッコ県民運動」を知り、この運動の趣旨にとっても共感し、PTA として取り組むこととしました。

「2(ニッコ)のつく日は ニッコリ笑顔で声かけを」をスローガンに掲げ、毎月 2 日・12 日・22 日には、サポーターズバッジを付けて、「笑顔で挨拶をしましょう」「活動をしながら笑顔で声かけをしましょう」と働きかけています。今後もこの運動を推進していきたいと思っています。

○灘分地区青少年育成協議会・灘分小学校

9 月のあいさつ運動の一環として島根県観光キャラクター「しまねっこ」を招き、あいさつ運動イベントを行いました。当日は、灘分小学校の児童がおうちの方や地域の方の前で、あいさつ運動への取組について元気な声で発表し、子どもたちの元気いっぱいの発表を聞いて、会場はあいさつの輪で一杯になりました。

大人も子どもと一緒に「あいさつ」を通してふれあいの力・絆を深め、声かけ運動を家庭・地域・学校で取り組み、今後とも地域全体で笑顔の声かけ運動を推進していきたいと思っています。



○医療法人陶朋会 (平成記念病院・平成苑)

しまニッコ運動を知ったのは雲南圏域の会に参加した際に配布されたチラシでした。

当会は日頃から職員間のより良いコミュニケーションによるチームワークの向上や当院を訪れるすべての方に対して明るい笑顔で接するという接遇意識の向上について取り組んでいます。

そこで、このバッジが当会でのこの取組のシンボルにならないかと考え、相談したところ法人全体で取り組もうということになりました。

毎年新しく入ったスタッフにも趣旨を伝えサポーターになってもらっています。今後も職員みんなで取り組みながら、職場から家庭へそして地域へとよりよいコミュニケーションの輪が広がっていくことを願っています。

○山陰合同銀行県庁支店

当行では全員が「しまニッコ! (スマイル声かけ) 県民運動」に賛同し、家庭や学校、地域や職場でのスマイル声かけの推進役となるよう缶バッジをつけて日々笑顔であいさつ、声かけを行っています。

当行の具体的な行動課題として「自分からコミュニケーションをとる」を掲げています。この「スマイル声かけ」はお客様とのコミュニケーションの基本であり、接遇向上につながります。また、職場内でも、積極的にコミュニケーションをとり、職場の雰囲気づくりに努めています。

これからも、ごうぎん県庁支店一同、「しまニッコ! (スマイル声かけ) 県民運動」に取り組んでいきます。



○第一生命保険株式会社島根支社

当支社では、営業所ごとにそれぞれの地域に溶け込んでその地域の人とのつながりを大切にしながら営業展開していくことを大切にしています。

また、社員には主婦の方も多く、家庭でも会社でも生き生きと過ごせるよう、ワークライフバランスを重視した働き方を大切にしています。

しまニッコ運動のねらいがまさに社の大切にしていることとぴったりとリンクしていると感じ、全社員がしまニッコサポーターとして登録し、まずはそれぞれの家庭からそして行く先々でこの運動を普及啓発していければと考えています

まだスタートしたばかりですが今後ともみんなでこの運動を推進していきたいと思っています。

「しまニッコ! (スマイル声かけ) 県民運動」サポーターズ募集中!!

青少年育成島根県民会議では、「しまニッコ! 県民運動」をさらに県内各地に広めるための推進役を担っていただくサポーターを募集しています。青少年関係機関・団体、学校や事業所単位での登録もお待ちしています! サポーターにご登録いただいた方には「しまニッコ! サポーターズバッジ」をお渡ししています。詳しくはホームページをご覧ください!



しまニッコ!

検索

印刷の情報は何でも提供いたします



明和印刷有限会社

〒690-0822 松江市下東川津町61-5
Tel.0852-22-3196 Fax.0852-22-3306
E-mail:meiwa@ms1.megaegg.ne.jp



「ことのは」とは…

子育てや子ども、家族に関する楽しさやうれしさ、感動などをきらりと光るひとことで表した言葉のことです。今年度は、全国から2,461通の応募がありました。

県子ども・子育て支援課が行う「ことのは大賞」事業を共催し、「県民会議会長賞」（一般の部・こっころの部）を授与しています。平成29年12月26日に県庁知事室で表彰式がおこなわれました。

イラスト：伊藤 巴さん



・一般の部 まつもと としひこ 松本 俊彦さん（京都府）
「子の世界 たった三つで大違い
見てての妹 見ないでの姉」



・こっころの部 やまもと ゆうな 山本 祐菜さん（島根県）
「お母さん うなずきながら眠ってる
話を聞いてくれてありがとう」

- * 島根県青少年育成アドバイザー養成講座
- * 青少年育成市町村民会議活性化セミナー
- * 青少年育成推進員研修



今年で7回目となる「アドバイザー養成講座（基礎研修）」が開催されました。また2日目は、青少年育成市町村民会議・青少年育成推進員の方も参加し、青少年育成の現状と課題、今後の取り組みについて意見交換を行いました。青少年育成にかかる基本的な考え方やアドバイザーの役割等について、行政・法律・教育関係者などの専門家の講義や、ワークショップによる演習を通して、実践的に学ぶことのできる貴重な機会となりました。

期 日：平成29年12月2日（土）～3日（日）
会 場：島根県立青少年の家「サン・レイク」
主 催：青少年育成島根県民会議
島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会
参加者：20名



『家族の思い出フォトエッセイ』入賞作品

青少年育成島根県民会議では、家庭・家族のあり方を見つめ直し、家族でふれあう時間を作るために、毎月第3日曜日を「しまね家庭の日」として県民運動を行っています。
この一環として、今年は「今も心に残る、家族の思い出」をテーマにしたフォトエッセイ（写真と文章）を募集し、24作品の応募がありました。入賞作品の内「会長賞」、「家庭の日賞」をご紹介します。

会長賞

【背中】 H・K (38才)

受験した大学すべてに不合格。「もう大学には行かない」。20年前、僕は、家族と僕自身にそう言っていた。そんな頃、父は近くのダムへ、ワカサギ釣りに僕を連れて行った。父なりの思いがあったのだろうが、特別な誘い文句はなかった。

釣りをしながら、背中合わせにいた父がふと、「お前は、福祉の仕事が合っていると思う。」と言った。僕は返事をしなかった。心に響く言葉でもなかったし、父にとっても何気ない言葉だったと思う。

20年後、僕は福祉の仕事をしている。たぶん、この父の言葉に導かれたわけではない。父も覚えていないだろう。でも、我が子と出会ってから、なんとなく気づいてきた。「あー、ちゃんと僕のことをわかっていて、僕の背中を見てくれていた」のだと。大人になろうとする僕への、父からの最大のプレゼントだったように思う。目の前にいる愛しい背中を見ながら、父の思いを重ねる。



家庭の日賞

【大社大社】 T・O (62才)

結婚して、3人の子宝を授かり、結婚37年を迎えた今、4人の孫に恵まれました。

昨年の夏休み。埼玉の孫が2人で大社へやってきました。4年と2年の男の子。来てすぐゲームのやりすぎで、じいじに叱られ、ゲームなしの10日間を過ごすことになりました。

ゲームはなくても大社にはやる事が沢山ありまして、魚釣り・海水浴・ポートこぎ・ラジオ体操・町の探検はじいじの出番。帰りたくない2人にじいじが出動！「帰るぞ！」の一言に「ハンターじいじがやってきたあー。にげろー。」

夏休みの宿題・寝る前の読み聞かせは、ばあばの出番。

遊び、勉強、お手伝い。どの場面も楽しくて嬉しくて幸せでたまらない。

ある時、「ばあばのお口はいつもえのお口だね。」

と言われ、???.....

そうか！わかったえのお口。

いつもばあばは笑っているねと言う事だったのね。

じいじと孫と私の時間。

幸せでちゃんとお顔に出していたんだね。



【お気に入りの風景】 M・I (49才)

何十年も前の話、私の父は、大工の仕事をしていました。ある日、父が建てている家の棟上げに付いて行きました。沢山の木から成る骨組みの家を見上げて感動したと同時に、父を大きく誇らしく思えたものです。

父は、休日も変わらず大工仕事をしていました。帽子をかぶり、耳に鉛筆を掛け、腰には大工道具が入る袋をさげています。当時、世の中のお父さんは何でも作って何でも直せるものだと思っていました。耳に鉛筆・木の香りは、私のお気に入りの風景と香りでもありました。

日曜大工の合間に母が父を呼びます。家族でのティータイムは格別のものでした。

優しい父、ニコニコ笑ってお茶を出す母、家族の中心で愛される弟。幸せな時間でした。

私の家からは穴道湖が眺めました。穴道湖をみると、そんな昔を思い出し心とみえます。

昔も今も変わらない穴道湖の景色が大好きです。



※その他の入賞作品については県民会議 HP をご覧下さい。

青少年育成島根県民会議

検索

会員募集

青少年育成活動にあなたのご協力をお願いします!!

■会員

青少年育成活動を支援し、推進していただける団体・企業・個人の方

年会費 5,000円 (一口以上)

■賛助会員

青少年育成活動に関心はあるが、参加できる機会が少ないため、資金面で支援をいただける団体・企業・個人の方

年会費・団体・企業：5,000円 (一口以上)

・個人 人：1,000円 (一口以上)

青少年育成島根県民会議では、次世代を担う青少年を育てる運動を広げるために、県民総ぐるみの青少年育成活動を展開しています。この活動は全て会員・賛助会員のみなさまの会費により運営されています。ぜひとも会員・賛助会員としてのご支援、ご協力をお願い致します。